

セラミック治療後のメンテナンス Maintenance after the ceramic treatment



村上奈未 Nami Murakami
日本臨床歯科 CAD/CAM 学会東北支部
医療法人社団ヨシノデンタルクリニック

補綴治療が完了してメンテナンスへ以降した際に、歯科衛生士が行う内容は天然歯か修復歯か、またその材質によって異なる。その中でもオールセラミックでの治療は、接着操作により強固に歯に装着されているため、余剰セメントがないかを確認する必要があることに加え、チッピングがないかなど表面の状態、歯質や歯肉の状態を注意深く観察し、対応する必要がある。

メンテナンスの中で大切なことは、まず患者さんの小さな愁訴も聞き逃さないようにすることと考える。舌触りが悪い、臭いが気になる、フロスが引っかかるなどの話があれば、さまざまな要因が含まれていることが多いので、場合によっては歯科医師と共に診査することが必要である。

PMTC の際は、エア・ポリッシングが非常に有効と感じている。以前はラバーカップで低速研磨していたが、時間がかかるという問題があった。エア・ポリッシングは粒子が細かいため摩耗性を低く抑えながら清掃ができ、患者様への負担の軽減や処置時間の短縮といったメリットがある。

歯科衛生士として患者様と信頼関係を築き、歯の重要性を説明しながら口腔内の状況に合わせたメンテナンスをしていく方法について発表する。